

夏のさかり（6年国語の教科書 76 ページより）

5月5日から「立夏^{りっか}」です。こよみの上では夏になりました。

6年生の国語では、二十四節気という、日本に昔から伝わる季節の区切りを学習します。教科書では、少し先の学習になりますが「立夏」から「大暑」までが夏になります。それぞれの意味は教科書に載っているので、見てください。せっかくのゴールデンウイークも、お家で過ごす日々だったと思います。でも、まわりを見回せば、季節の移ろい（変化）をたくさん見つけることができるはずです。ぜひ、さがしてみてください。

では、6年担任が感じた季節を紹介します。

6年1組

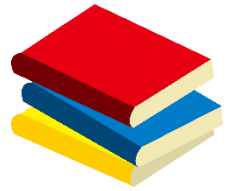
「夏の蝶 日かげ日なたと 飛びにけり」

高浜虚子の一句です。畑には、ひらひらと何頭も蝶が舞い始めています。日差しが日に日に強くなってきていますが、蝶を見ているとなんだか涼しく感じますね。心も穏やかになる気がします。

我が家でもモンシロチョウの観察を始めました。卵を見つけ、今は幼虫になり、キャベツをモリモリ食べて大きくなっています。息子たちは毎日目を輝かせて観察していますが、先生は苦手です(´・ω・`)

6年2組

家で過ごしたGW。庭にイスとテーブルを出して読書をしてみました。吹く風がなんとも心地よく、始まりつつある夏を感じました。読んだのは推理小説。時間があるので、一気に読み切ることが出来てとても楽しかったです。6年生の皆さんには「アルセーヌ・ルパン」シリーズ（モーリス・ルブラン作）などいかがでしょう？シリーズ第一作は「怪盗紳士ルパン」。(短編集) おすすめです！



6年3組

5月5日は「こどもの日」。こどもの日に食べるものといえば、柏餅ですか？ちまきですか？今回、初めて知ったのですが、関東地方では柏餅・関西地方ではちまきを食べるのが主流だそうです。みなさんは、どちらを食べましたか？私は何と!!両方、食べました。

新芽が芽吹き、青々とした葉が茂る活気に満ちた季節です。明るく元気に、過ごしましょう。



6年4組

最近、風が強いなど、感じることはありませんか？「初夏^{しよか}の青葉^{あおば}の頃に吹くやや強い風」のことを、「青嵐（あおらし・せいらん）」と言うそうです。昔の人は素敵な言葉を考えます。窓を開けて、青嵐を感じるのもいいですね。さて、この花は、何の花か分りますか？



答えは、春菊と大根です。どちらも冬の野菜ですが、初夏には別の顔を見せてくれます。



大根です